

「当院でのエリブリン投与症例における治療効果予測因子、予後予測因子としての
好中球・リンパ球比(NLR)とリンパ球絶対数(ALC)の検討」

ご協力をお願い

今回、当院では、エリブリンの治療を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査
させて頂きたいと考えています。

研究の目的

近年、末梢血分画を用いた予後予測因子として好中球・リンパ球比 (NLR)、リンパ球絶対数
(ALC)が注目されています。

臨床試験の結果からも、転移再発乳癌に対するエリブリン投与症例において、NLR、ALC
と予後との関連が報告されました。

そこで、今回、当院でエリブリンを使用した症例の NLR、ALC とその治療効果などについ
て検討することで、より有効な治療選択を行うことができると考え研究を行います。

研究の方法

- ・対象となる患者様について

2011年～2021年12月に当院乳腺外科でエリブリンを使用した患者様を対象とします。

- ・方法について

上記対象となる方の診療録より情報収集し、治療効果、予後などについて統計学的に検討
します。

- ・研究に用いる試料・情報について

性、年齢、初回発病年齢、罹患期間、臨床検査、放射線検査、疾患関連情報(病理学的検
査、Stage、治療歴、転移臓器など)、有害事象などです。

- ・資料の管理について

情報は全て匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表され
る場合でも個人が特定されることはありません。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されてい
ます。本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生
じません。本研究の参加に関しては、本掲示をもって文書同意に代えますが、ご了承いただ
けない場合には研究対象としませんので、下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患
者様に不利益が生じることは一切ありません。この研究計画についてご質問などがある場
合は下記までご連絡ください。

連絡先：京都第一赤十字病院 乳腺外科 北野 早映

電話：075-561-1121(代)